

福井県コンクリート診断士会

非破壊検査研修会

〈I T 編〉を開催

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）

行われた。

同研修会の内容は①損

傷調査事例紹介（佐藤登

・三協代表取締役）②赤

外線サーモグラフィの

原理、調査事例（高橋敷

・日本アビオニクス販売

営業本部TVS販売部営

業部長）③デジタル画像

診断支援システムの紹介

（小出博・ニコンシステ

ム第3システム本部営業

部担当部長）④赤外線サ

ーモグラフィ、デジタ

ルカメラを用いた野外実

習（講師全員）⑤赤外線

サーモグラフィ、デジ



研修会の様子

タルカメラの画像処理技
術（同）など。

参加者は正会員18人、

賛助法人の社員3人に、

島根県コンクリート診断

士会の井田豊会長、幸前

徹事務局長を加えた計23

人。島根県診断士会は今

年6月に発足したばかり

で、活発な活動を行って

いる福井県診断士会との

情報交流および同研修会

の視察を目的に訪れた。

福井県診断士会は昨年

も非破壊検査技術研修会

を実施したが、参加者か
らは「技術開発が急速に
進んでいる分野だけに、
非破壊検査に関する知識
や情報はわずかの期間で
すぐに古いものになって
しまう。そんな非破壊検
査技術の最新の知識を習
得でき、とても有意義だ
った」などの感想が挙が
った。

今後コンクリート診

断士の資質を高めるべ
く、福井県診断士会では
「研修会の充実を図って
いきたい。12月には走査
電子顕微鏡および電子マ
イクロアナライザーを用
いた診断技術の研修会を
予定している。さらに、
来年2月には会員以外も
参加可能なオープン研修
会も実施したい」（石川
会長）としている。